

2020年度 第15回
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験（論述） 問題用紙

実施日 ◆2020年11月1日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方も合格基準に達することが必要です。
- 2020年12月15日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会のWebサイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.icda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、45歳女性、4年制大学卒業、
特別養護老人ホームに3ヶ月前から勤務
夫（48歳）との2人暮らし

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

CL1：今の仕事に自信がなくなって、どうしたらいいか分からなくなって、相談に来ました。

CCt1：今の仕事に自信がなくなったということですね。どういうことですか。

CL2：はい、人と関わる仕事がしたいと思って、思い切って前の仕事を辞め、研修を受けて、今の介護施設に入りました。研修では、利用者さんから信頼されることの大切さを教えてもらったのですが、それができていないのです。

CCt2：思い切って前のお仕事を辞められたのに・・・前のお仕事はどんなお仕事ですか。

CL3：大学を卒業して4ヶ月ほど営業をしたのですが、その後、特許事務所に移って3年くらい仕事をしました。結婚して一旦辞めたのですが、また、その特許事務所から声をかけてもらって4年間勤めました。仕事は、特許出願用のデータ入力、登録手続きや管理業務をしていました。

CCt3：どうしてそのお仕事を辞めて、介護のお仕事をしようと思われたのですか。

CL4：特許事務の仕事は嫌いじゃないのですが、毎日パソコンや書類相手で、人との会話がほとんどなく、だんだん、これでいいのかな、何をしているのかなと思うようになっていました。そんな時に、介護の仕事をしている友だちが、自分のやっていることが人の役に立っていると感じられて楽しいと活き活き話していたので、自分もやってみたいと考えるようになりました。

CCt4：そうですね。それで介護の仕事に携わろうと思われたんですね。

CL5：はい。友だちから「介護福祉士実務者研修」の案内を見せてもらおうと、研修を修了して実務を3年経験すれば、介護福祉士の資格試験も受けられるとのことだったので、前の仕事を辞めて、受講しました。

CCt5：そこで、介護の勉強をされたのですね。

CL6：そうです。研修では、講師の先生が利用者さんに寄り添って介護をすることの大切さを熱心に話してくださいました。実習で、ある施設を見学したときに、職員の方がテキパキ動きながら、利用者さんとのいい関係を作られているのを見て、素敵な仕事だと思いました。

CCt6：そう思われていたのに、今は自信をなくしておられるということですか。

CL7：はい、いざ働いてみると、利用者さんとの関係がうまくいかなかったり、自分があまり利用者さんのことを考えようとしてないんじゃないかと思って、この仕事は向いてないのかなと悩むようになりました。

【事例Ⅰ】

CCt7：その施設に転職することを決められたのはどうしてですか。

CL8：ハローワークで求人票をいただいたのですが、家から近いのでいいなと思って、研修の学校経由で見学をお願いしました。すると、職員の方が明るくて、テキパキと動いておられる様子が印象的でしたし、利用者さんに優しく接しておられて、施設全体がいい雰囲気でしたので、応募しました。運良く面接にも通らせていただきました。

CCt8：働き場所としてはいいと思われているんですね。

CL9：そうです。入ってからも印象は変わりませんでした。ただ私が介護の世界は初めてですし、研修は受けたんですが、現場で起こることは初めての経験ばかりで、この3ヶ月は仕事をこなすのに必死でした。

- CCt9 : まだ3ヶ月ですから、これから経験を積み重ねていかれると自信もついてこられるのではないですか。
- CL10 : 確かに3ヶ月ですが、人と触れ合う仕事がしたい、人の役に立ちたいと思ってこの仕事を選んだのに、利用者さんのことを意識していない自分がいたり、それによって利用者さんとの関係がギクシャクしたりすると、これから先どうしたらいいのかと不安になってしまいます。
- CCt10 : 先ほど経歴を教えてくださいましたが、営業を4ヶ月で辞められたり、特許事務所でもあまり人と接する仕事をして来られなかったようですので、そういうことも影響しているのかもしれないですね。
- CL11 : でも、元々は人に関わる仕事をしたいと思って、営業を選んだのです。だけどノルマがきつくてすぐ辞めました。特許事務は、コツコツやる仕事でそれは私に合っていたと思います。仕事では人に接することは少なかったですが、家では、近所のお年寄りの話をよく聞いてあげたり、ほしいものを聞いて買い物をしてきてあげたりしていました。
- CCt11 : コツコツする仕事が合っているとされましたが、また、そのようなお仕事に移ることは考えられますか。
- CL12 : う～ん。転職ですか。そう言われると考えてしまいます。もう少しよく考えて整理したいと思います。

(後略)

【事例Ⅱ】

- CCt7 : 実際に仕事をされていて、自信が無くなることや、利用者さんとうまくいかなかったと思われる出来事があったのですか。
- CL8 : はい。2週間くらい前に、担当していた利用者の方が、食事をとりたくないと言われて、困りました。その時は体調が悪いのかなと思って、先輩に対応をお任せしました。ところが、また、1週間くらいして、別の利用者さんが、私の介助で食事をとることを拒否されたんです。私はどうしていいのかわからなくなりました。
- CCt8 : 同じことが続いて混乱されたのですね。
- CL9 : はい、その後すぐフロアリーダーに呼ばれて、「Aさんは利用者さんが見えてますか？利用者さんの中には、ゆっくりでも自分の力で食べたいとか、食べさせてもらうことは迷惑をかけてしまって申し訳ないと思う方もおられるのですよ。」とされました。
- CCt9 : それにどう答えられたのですか。
- CL10 : その時は、さらに動揺して何も答えられませんでした。その後、研修で学んできたことや、自分がこの施設に入って何をしてきたかを振り返ってみました。食事の時には、時間の枠があるので、それを頭に置いて時間内に終わるにはどうしたらいいかを考えていました。食べるのが遅い方とか、こぼされる方がいるとか、いろいろなアクシデントがあるのですが、できるだけ時間枠に合わすように、食べさせてあげたり、早く食べるように促したりしてしまっていました。仕事を段取りよくやろうという意識が先に働いている自分を感じましたし、そうしていることに気がついていない自分に対して情けなさが湧いてきました。
- CCt10 : その情けなさというのはどんなことですか。
- CL11 : う～ん。早く戦力になりたいと日常の業務をこなしているうちに、知らず知らずのうちに、利用者さんをお世話するお相手としてではなく、仕事をこなすプロセスの一部として考えてしまっていたような気がします。
- CCt11 : 利用者さんに寄り添うことが大切だと頭でわかっているのに、実際はそうならなかったというのはどうしてでしょうね。
- CL12 : 何でしょうね……。仕事ができるということは、時間をきっちり管理できることだという考え方が、私の中に根付いてしまっているのかもしれないですね。

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い 1]

事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例ⅠとⅡの違いを下記の5つの語句(指定語句)を使用して解答欄に記述せよ(同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句の下に必ずアンダーラインを引くこと)。(15点)

指定語句

自己探索 共感 経験 問題解決 思い込み

[問い 2]

事例ⅠのCCt10と事例ⅡのCCt11のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。(15点)

[問い 3]

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅱにおいて、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を、具体的な例をあげて解答欄に記述せよ。(10点)

[問い 4]

全体の相談者の語りを通して相談者像を想像し、事例Ⅱのやりとりの後、あなたならどのようなやりとりを面談で展開していくか、その理由も含めて具体的に解答欄に記述せよ。(10点)

設問

[問い 1]

[問い 2]

事例Ⅰの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由：

事例Ⅱの CCt11 (相応しい・相応しくない)

理由：

[問い 3]

[問い 4]
